

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の
問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2024 年 10 月から 2025 年 11 月までに、腹腔内病変に対して Gangi-Soft Guard®を用いて CT ガイド下手技を施行された患者さん。 および 2023 年 8 月から 2024 年 9 月までに、腹腔内病変に対して鋭針を用いて同手技を施行された患者さん。			
② 研究課題名	腹腔内病変に対する CT ガイド下手技におけるバネ式コアキシャル鈍針（Gangi-Soft Guard®）の安全性と有用性の検討			
③ 実施予定期間	2025 年 12 月 ～ 2028 年 3 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター			
⑤ 研究代表者	氏名	植田真智	所属	呉医療センター 放射線診断科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	植田真智	所属	呉医療センター 放射線診断科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、カルテ記録、CT ガイド下手技の記録および画像、病理検査結果 ※上記診療情報は、研究終了後 5 年間もしくは、研究結果の公表後 3 年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。			
⑧ 目的	バネ式コアキシャル鈍針（Gangi-Soft Guard®）は先端部を鈍針または鋭針に任意に変えることができ、腹壁などの硬い部分を鋭針で貫きつつ、損傷を避けたい臓器の多い経路は鈍針とすることで、臓器損傷を避けて穿刺を行うことができます。周囲に腸管や血管などの大切な臓器が多い腹腔内病変に対する CT ガイド下手技において、腸管損傷や出血などの合併症の低減が期待できますが、その有効性と安全性を従来の鋭針を用いた手技と比較した先行研究はありません。これを明らかにすることで、CT ガイド下手技における適切な治療デバイス選択に資することが本研究の目的です。			
⑨ 方法	2024 年 10 月から 2025 年 11 月までに腹腔内病変に対して Gangi-Soft Guard®を用いて CT ガイド下手技が施行された 12 症例と、2023 年 8 月から 2024 年 9 月までに鋭針を用いて同手技が施行された 31 症例を対象として、原疾患、関連する画像所見、治療内容とその結果、合併症、術後の転帰、病理検査結果を調査、検討します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日		2025 年 12 月 25 日	
	院長承認日		2025 年 12 月 25 日	
⑪公表	個人情報保護は確保したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	植田 真智	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 放射線診断科			

呉医療センター院長